

## 基本目標 3

豊かな心と個性を育む都市

事業 No	19		
担当課	学校教育課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	少人数指導の推進		

新継区分	新規 ・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span>
------	---

### 事業の目的・概要

<p>算数及び数学の授業時において、少人数指導、習熟度別指導及びつまづきが見られる児童生徒への個別指導などにより、きめ細やかな指導を行うことにより、児童生徒の学力の底上げ、学力の二極化の解消及び学習意欲の向上を図る。</p> <p>また、サポートティーチャーの配置による成果を毎年検証し、その効果的な活用方法を全ての配置校に広げ、児童生徒の学力向上を目指す。</p> <p>さらに、サポートティーチャーの指導力向上を図るため、年間4回、研修会を開催し、効果的な活用方法を検証する。</p>
--

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別 事業内容	<p>○小中学校にサポートティーチャーを配置することにより、担任や教科担任も含め複数で指導に当たり、個々に応じたきめの細かい授業や少人数による授業を行う。</p> <p>○令和元年度は、各小学校にサポートティーチャーを2人（福田第一小学校及び関宿小学校は1人）各中学校に1人ずつの計49人配置する。</p>	<p>○令和元年度の配置の成果、課題を集約し、効果的な活用方法について、研修会等で検証を行う。</p>	<p>○令和2年度の検証結果を基に、効果的な活用方法を全配置校で実践し、成果を集約する。</p>

事業 No	20		
担当課	指導課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	英語授業の充実		

新継区分	新規 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">継続</span>
------	---

### 事業の目的・概要

<p>グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上と国際感覚の養成は日本の将来を担う児童生徒にとって極めて重要である。また、小学校の英語教科化や中学校の「英語による英語の授業」を控えており、英語教育の充実が喫緊の課題である。今後、児童生徒が英語や外国の文化、習慣についての基礎的、基本的な知識、技能を身に付け、英語によるコミュニケーション能力を向上させることができるように、英語教育の充実を図っていく。</p> <p>令和2年度の新学習指導要領完全実施に向け、平成30年度は、小学校3、4年生で年間15単位時間の外国語活動、5、6年生で年間50単位時間の外国語活動を行っており、令和元年度については、完全実施を1年前倒しし、小学校3、4年生で年間35単位時間の外国語活動、5、6年生で年間70単位時間の外国語活動を実施する。</p> <p>それに伴い、現在、9名体制として小学校の外国語指導助手（ALT）を令和元年度より1名増員し、10名体制として英語や外国の文化、習慣についての基礎的、基本的な知識、技能を身に付けさせ、英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>また、中学校では、令和2年度から現在の3名体制から1名増員した4名体制とし、小学校英語教育との連携を図りながら、教員の英語の指導力向上に努め、生徒の英語によるコミュニケーション能力を向上させることができるよう英語教育の充実を図る。</p> <p>○ALT人数</p> <table border="0"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>小学校：9名、中学校3名</td> <td>計12名</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>小学校：10名、中学校3名</td> <td>計13名</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>小学校：10名、中学校4名</td> <td>計14名（令和3年度同数）</td> </tr> </table>	平成30年度	小学校：9名、中学校3名	計12名	令和元年度	小学校：10名、中学校3名	計13名	令和2年度	小学校：10名、中学校4名	計14名（令和3年度同数）
平成30年度	小学校：9名、中学校3名	計12名							
令和元年度	小学校：10名、中学校3名	計13名							
令和2年度	小学校：10名、中学校4名	計14名（令和3年度同数）							

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語指導助手（ALT）を中学校に3名、小学校に10名配置し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化、習慣に触れることで、国際感覚の養成と国際理解教育の推進を図る。</li> <li>○英語に堪能な地域人材を小学校に配置し、児童の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化や習慣を学ぶ機会を与える。</li> <li>○外国語指導助手（ALT）を活用した国際理解教育活動の実施</li> <li>○教員の指導力向上のための研修の充実を図る。</li> <li>○中学生の英語での自己表現力や学習意欲を図るための「野田市イングリッシュ道場」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語指導助手（ALT）を中学校に4名、小学校に10名配置し、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化、習慣に触れることで、国際感覚の養成と国際理解教育の推進を図る。</li> <li>○英語に堪能な地域人材を小学校に配置し、児童の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の文化や習慣を学ぶ機会を与える。</li> <li>○外国語指導助手（ALT）を活用した国際理解教育活動の実施</li> <li>○教員の指導力向上のための研修の充実を図る。</li> <li>○中学生の英語での自己表現力や学習意欲を図るための「野田市イングリッシュ道場」の実施</li> </ul>	同左

事業 No	21		
担当課	指導課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	土曜授業		

新継区分	新規 ・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span>
------	---

### 事業の目的・概要

<p>市内各小中学校に、地域の方々や理数系の大学生等を中心とした土曜授業アシスタントを配置し、サポートティーチャーや要配慮児童生徒支援員とともに、さまざまな教科等においてチームティーチングや習熟度別指導、少人数指導等を実施。きめ細かな授業を実施し、児童生徒の学力の向上と定着を目指すとともに児童生徒が意欲的に学ぶ土曜授業の効果的な在り方を確立する。</p> <p>また、小学校では新学習指導要領の実施により外国語活動の授業が導入されることで平日の授業が1時間増となるところを土曜授業の利用により解消を図る。</p>
---

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別 事業内容	隔週プラス3時間の授業形態の工夫 ・TT、少人数指導、習熟度別指導 ・学力向上につなげる。 講師の活用 ・サポートティーチャーを全小中学校へ配置 ・通常学級へ要配慮児童生徒支援員を配置 ・土曜授業アシスタントを学校のニーズに応じて配置	同左	同左

事業 No	22		
担当課	生涯学習課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	子ども未来教室の充実		

新継区分	新規 ・ 継続
------	---------

### 事業の目的・概要

<p>「子ども未来教室」は、基礎学力の向上や学習習慣の定着、学習に対する興味関心を高めるための学習支援の場として、平成 29 年度から希望する全ての市内公立中学生に英語と数学を中心とした学習支援を通年で行い、また平成 30 年度からは、授業への理解の差が目立ってくる小学校 3 年生を対象として、希望者に 4 月から 10 月までの期間、国語と算数の学習支援を実施している。</p> <p>令和元年度からは、実施計画（令和元年度 - 3 年度）に位置付け、引き続き実施する。</p> <p>また、これまで児童 10 人までごとに講師 1 人を配置し対応していた小学校 3 年生の学習支援を、よりきめ細かな指導ができるよう児童 5 人までごとに講師 1 人を配置し対応する。</p>
--

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年度別 事業内容	<p>○基礎学力の向上や学習習慣の定着、学習に対する興味関心を高めることを目的として学習支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども未来教室 (小学校 3 年生) 通学する小学校を会場に、国語と算数の学習支援を行い、児童 5 人までごとに 1 人の講師を配置する。</li> <li>・子ども未来教室 (中学生) 9 か所の公民館、2 か所のコミュニティ会館、1 か所の中学校を会場に、英語と数学の学習支援を行い、生徒 5 人までごとに 1 人の講師を配置する。</li> </ul>	同左	同左

事業 No	23		
担当課	指導課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	部活動ガイドラインの推進		

新継区分	<b>新規</b> ・ 継続
------	----------------

### 事業の目的・概要

<p>児童生徒の高水準の技能習得と体力の向上、規範意識や社会性、自主性を高め豊かな人間性を育むとともに、顧問教員の児童生徒と向き合う時間の確保や日々の教育活動の充実を目的に部活動ガイドラインを策定。自発的、自主的な部活動の展開、児童生徒の好ましい成長につながる指導、個性の尊重や柔軟な運営、適切な休養日や練習時間の設定を図るとともに、顧問教員の取組を支える部活動指導員を配置し、家庭や地域社会からより信頼される部活動を目指す。</p> <p>○部活動指導員配置数</p> <p>令和元年度 2人 令和2年度 4人 令和3年度 6人</p>
---

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別事業内容	<p>○各中学校からの要望に基づき、レスリングと軟式テニスの部活動指導員各1名を配置し、専門的な指導のもと家庭や地域社会から信頼される部活動を目指すとともに、生徒と顧問の熱意や健康管理を大切にしながら魅力的でやりがいのある部活動を実施する。</p>	<p>○教員の人事異動により、顧問が不在となる種目について学校からの要望に基づき、部活動指導員2名を新たに配置し、4名体制とする。</p> <p>○令和2年度は、前年度に配置した軟式テニス、レスリング以外の種目について指導員を配置し、専門的な指導の下、家庭や地域社会から信頼される部活動を目指すとともに、生徒と顧問の熱意や健康管理を大切にしながら魅力的でやりがいのある部活動を実施する。</p>	<p>○教員の人事異動により、顧問が不在となる種目について学校からの要望に基づき、部活動指導員2名を新たに配置し、6名体制とする。</p> <p>○令和3年度は、元年度、2年度に配置した種目以外についても指導員の配置を検討し、専門的な指導の下、家庭や地域社会から信頼される部活動を目指すとともに、生徒と顧問の熱意や健康管理を大切にしながら魅力的でやりがいのある部活動を実施する。</p>

事業 No	24		
担当課	教育総務課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	
事業名	学校トイレ改修事業		

新継区分	新規 ・ <u>継続</u>
------	----------------

### 事業の目的・概要

<p>小中学校トイレの洋式化については、平成 15 年度からトイレ 1 か所につき 1 個ずつ洋式化を進め、平成 30 年度で小学校 20 校、中学校 11 校の現在の計画が完了した。</p> <p>令和元年度からは、次の洋式化計画として児童生徒用の女子トイレの洋式化率 70% を目標に実施するとともに、老朽化したブース等の改修も実施する。改修の順番は、洋便器 1 個当たりの女子児童数が多い学校から行うことを基本とする。</p> <p>体育館にトイレが設置されていない北部小学校及び東部中学校は、隣接する外トイレを改修し、体育館用としても活用する。</p>
--

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別 事業内容	○中央小学校トイレ改修事業 ○福田第二小学校トイレ改修事業 30年度の国の第2次補正予算が採択されたため、3月補正で30年度予算措置し、全額令和元年度予算に繰越し	○北部小学校トイレ改修事業 ○北部小学校外トイレ改修工事 ○東部中学校外トイレ改修工事	○二川小学校トイレ改修事業 ○みずき小学校トイレ改修事業

事業 No	25		
担当課	生涯学習課（中央公民館）		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	中央公民館耐震化長寿命化事業		

新継区分	新規 ・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span>
------	---

### 事業の目的・概要

<p>ファシリティマネジメントの基本方針に基づき、特定建築物である「中央公民館（総合福祉会館、市民活動支援センター含む）」の耐震化の必要性を確認するため平成 30 年度に耐震診断を実施。その結果、判定指標値 <math>I_s=0.6</math> 以上に対し、診断数値 <math>I_s=0.603</math>（最小値）という満足するデータとなったものの、2 階及び 3 階の片持ち梁で地震時の応力負担に問題があることが判明。については、構造補強工事を実施するに当たり令和元年度当初予算で構造補強等設計を行い、令和元年 9 月補正予算にて構造補強工事を実施していく。</p> <p>令和元年度に実施する構造補強等設計の結果を踏まえて、構造補強工事費については令和元年 9 月補正予算にて計上し実施する。</p>
--

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年度別 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○構造補強等設計</li> <li>○構造補強工事</li> <li>・設計に基づき補正予算にて計上</li> </ul>		



事業 No	26		
担当課	青少年課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	活力とにぎわいに満ちた都市
事業名	オープンサタデークラブ事業		

新継区分	新規 ・ <span style="border: 1px solid black;">継続</span>
------	---

### 事業の目的・概要

<p>新学習指導要領を補完するために学校を開放することにより、子供たちに体験を通じて「豊かな人間性や社会性を育み、国際社会に生きる日本人として素地を育む」機会を地域社会全体で創り出していく。</p> <p>平成 14 年度から新たに休みとなった土曜日のうち、第 1、第 3 土曜日に、市内の小中学生を対象として、市内小中学校、公民館等の公共施設を利用して、指導者（講師）による文化、芸術、体育講座を実施する。平成 19 年度までは、サタースクールとオープンサタデークラブの開催が重なり、結果、子供たちが二分され、参加者が少ないことなどから、平成 20 年度よりオープンサタデークラブは第 1、第 3 土曜日に、サタースクールについてはその他の土曜日に実施する体制とし、子供たちの受講機会を増やす。</p> <p>また、新規クラブを開設するに当たり、東京理科大学とのパートナーシップ協定に基づき、学生を指導者とするクラブも開設する。さらに、指導者への資質の向上や緊急時の対応、安全管理を図るため、クラブとスクール合同による研修会を行ったり、事業の成果を披露するための文化系クラブを中心としたクラブフェスタを開催し、広く市民に発表できる機会も設ける。また、市内の小中学生を対象にアンケート調査を実施し、オープンサタデークラブの改善にも努めていく。</p> <p>なお、事業費の財源補助として、平成 19 年度から県補助金「放課後子ども教室推進事業（基準額の 2/3 補助）」を活用する。</p>
---

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年度別 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 1、第 3 土曜日のクラブ開催（年間 16 回）</li> <li>○クラブメニュー39 クラブの提供</li> <li>○クラブ、スクールの合同研修会開催</li> <li>○クラブフェスタの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 1、第 3 土曜日のクラブ開催（年間 17 回）</li> <li>○クラブメニュー40 クラブの提供</li> <li>○クラブ、スクールの合同研修会開催</li> <li>○クラブフェスタの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 1、第 3 土曜日のクラブ開催（年間 17 回）</li> <li>○クラブメニュー41 クラブの提供</li> <li>○クラブ、スクールの合同研修会開催</li> <li>○クラブフェスタの開催</li> </ul>

事業 No	27		
担当課	市史編さん担当		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	
事業名	野田市史の刊行（通史編・資料編・別編）		

新継区分	新規 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">継続</span>
------	---

### 事業の目的・概要

<p>野田市の歴史的発展の軌跡を考察分析し、今日の野田市が形成された過程を的確に把握し、それらを明確にすることによって、地域に対する理解を深め、市民文化の向上及び将来の野田市の発展に寄与し、長くその文化遺産を市民共有の財産として伝えるため、野田市史 通史編、資料編、別編の刊行を行う。</p> <p>「野田市史編さん大綱」に基づき、野田市史『通史編』（全3巻）『資料編』（全9巻、うち既刊6巻）『別編』（全5巻）及び『その他の刊行物』（調査報告書として『民俗調査報告書』10巻及び『自然・環境調査報告書』1巻が既刊）の編さん、刊行を行う。</p> <p>野田市史各刊行物の基本仕様は、箱入り上製本B5版（1,000頁以内）各巻800部を作成し、600部程度を普及交換図書として、図書館等の公共機関や資料所蔵機関に寄贈、残りを広く有償頒布する。</p>
---

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通史編</li> <li>・通史編（原始、古代、中世）原稿執筆、刊行準備</li> <li>○資料編</li> <li>・近世2、3刊行準備（資料選定、資料撮影、解読筆写）</li> <li>・近現代3刊行準備（資料選定、資料撮影、解読筆写）</li> <li>○別編</li> <li>・自然編 刊行準備(資料収集)</li> <li>・醤油編 刊行準備(資料収集)</li> </ul>	<p>前年度の進捗状況による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通史編</li> <li>・通史編（原始、古代、中世）刊行</li> <li>○資料編</li> <li>・近世2原稿執筆、刊行準備（資料撮影、解読筆写）</li> <li>・近現代3刊行準備（資料撮影、解読筆写）</li> <li>○別編</li> <li>・民俗編 原稿執筆</li> <li>・自然編 刊行準備(資料収集)</li> <li>・醤油編 刊行準備(資料収集)</li> </ul>	<p>前年度の進捗状況による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料編</li> <li>・近世2刊行</li> <li>・近現代3原稿執筆、刊行準備（資料撮影、解読筆写）</li> <li>○別編</li> <li>・民俗編 原稿執筆</li> <li>・自然編 刊行準備(資料収集)</li> <li>・醤油編 刊行準備(資料収集)</li> </ul>

事業 No	28		
担当課	スポーツ推進課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	
事業名	各種スポーツ施設の整備		

新継区分	新規 ・ <u>継続</u>
------	----------------

### 事業の目的・概要

陸上競技場の日本陸上競技連盟の第三種公認期間が令和2年3月31日に満了となるため、また、総合公園の各施設（体育館、水泳場、野球場等）は建物及び設備等が全体的に劣化している現状から、建物及び設備等の延命化、利用者の安全性及び利便性等を十分配慮した改修を基本的な考え方として、平成23年度から概ね13か年計画で緊急性の高いものから、実施計画に盛り込み取り組んでいく。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
年度別 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上競技場公認更新に伴う更新工事</li> <li>○陸上競技場公認更新に伴う備品更新（風速計等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○陸上競技場公認更新に伴う備品更新（円盤、ハマー投げ用囲い等）</li> <li>○庭球場人工芝張替工事（5面）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庭球場人工芝張替工事（4面）</li> </ul>

事業 No	29		
担当課	スポーツ推進課		
基本目標	豊かな心と個性を育む都市	基本目標	
事業名	福田体育館耐震化長寿命化事業		

新継区分	新規 ・ <u>継続</u>
------	----------------

### 事業の目的・概要

<p>福田体育館について、野田市耐震改修促進計画及び野田市ファシリティマネジメント（施設の長寿命化計画）の基本方針に基づき耐震補強等設計、耐震補強等工事を行い、あわせて、昭和 55 年 8 月に開場し、築 39 年が経過して老朽化が進んでいる体育館全体の大規模改修工事を行い、同基本方針に基づく長寿命化を図る。</p>
---

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
年度別 事業内容	耐震診断  <b>【診断】</b>	耐震補強等設計  <b>【設計】</b>	耐震改修工事及び施工監理業務 耐震補強等設計の結果を受け、工事内容等を決定し実施する予定  <b>【工事】</b>